

ザッツライトとは・・・それが権利だ！そのとおり！！という意味です。

## 市民交流プラザ ふくちやま グランドオープン



市民交流プラザふくちやま(愛称 ききょう)は、6月21日(土)に、図書館を含む全ての施設がグランドオープンしました。

市民交流プラザは、誰にとっても使いやすく、誰もが気軽に集うことができる「人にやさしい施設」であることを目的にデザインされています。

### ユニバーサルデザイン

ユニバーサルデザインとは、障害の有無や、年齢・性別・国籍・文化の違いに関わらず、すべての人にとって、使いやすく理解しやすいようにされたデザインのことです。



### トイレ・多目的トイレ

1～4階全ての階のトイレには、車イスの方が使いやすいよう、ドアがワンタッチで開閉し、トイレ内も車イスが回転できる広さを備えたトイレがあります。1・3・4階は、オストメイト(人工肛門等)対応、オムツ交換・衣服着脱用のストレッチャーも備えた多目的トイレとなっています。

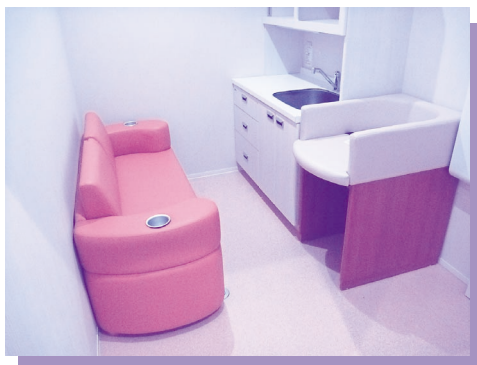
また、男女問わず全てのトイレにベビーチェアが設置された個室トイレがあります。

### エレベーター

交流プラザ内には、プラザ2基、図書館内に1基のエレベーターがあります。

プラザのうち、1基はストレッチャーも入る大きさで、救急の事態に対応できるようになっています。

図書館内のエレベーターは、両側にドアが設置されており、1階と2階で反対側のドアが開き、車イスの方がエレベーター内で回転することなく、そのまま乗り降りできるようになっています。



### 授乳室・保育ルーム

1階の図書館内、3・4階には、授乳室を備え、赤ちゃんを連れてた方でもプラザを安心してご利用いただけます。

また、4階には、利用無料の保育ルームがあり、プラザ利用者の方はどなたでもご利用いただけます。

#### 【保育ルーム】

月曜～金曜日 午前9時～午後5時

定員10人(お子様と保育士をあわせての人数です)

※北京都ジョブパークの利用者の方は事前申込みが必要です。

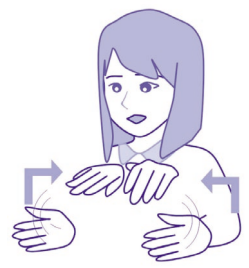
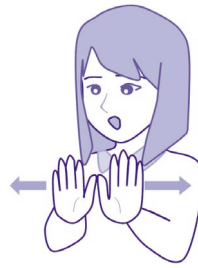
裏面は、図書館とほっとはあとスペース「森cafe」のご紹介です。

# 手話を覚えましょう

学校の授業や公民館の講座などの取組みで、手話への理解が広がってきました。みんなが互いに理解し合い、助け合えるコミュニケーション方法のひとつとして、手話を覚えて日常に役立ててみましょう。

「どこへ行くのですか？」

「新しくオープンした図書館です。」



行く

どこ (①場所+②何)

新しい

オープン

図書館 (本 + 建物)

手話をする時は、口も合わせて動かしたり、表情や身振りなどにも工夫しましょう。より伝わりやすくなります。

\* 耳の不自由な人は、手話のほかにも、紙や手のひらなどに書いて伝える「筆談」や、口の動きを読み取る「読話」・「口話」などを組み合わせてコミュニケーションしています。相手に合った方法を工夫してみましょう。

市役所では各課の窓口に、耳が聞こえにくい人や言語に障害のある人のために、筆談ボード(右の写真)を設置しています。お気軽に御利用ください。



福知山市では、<sup>きずな</sup>「絆プロジェクト」として、聴覚障害のある人への理解を深めるための講演会や手話の出来る職員の養成等に取り組んでいます。(地域福祉課)

## 外国での障害者への取組みを紹介します

駅・観光地の一部などで障害のある人などが安心して利用できるように、施設の整備がされました。



中正紀念堂へ続く点字ブロック  
(台湾・台北市)



ボタンで開閉するトイレ  
(米国・アリゾナ州)

日本だけでなく、諸外国でも障害のある人や高齢者などに配慮したまちづくりが進められています。世界中どこでもだれもが安心して暮らせ、訪れることができる国づくり・まちづくりが望まれます。

# 共に幸せを生きるために ～認知症への理解を深めましょう～



認知症サポーターの証  
(オレンジリング)

## 認知症って何だろう？

認知症とは、一度獲得した脳の機能が低下し、記憶や思考への影響がみられる病気です。

### 症状1【記憶障害】

例) 新しい事を記憶できずに先ほど聞いたことも思い出せない。

### 症状2【見当識障害】

例) 現在の年月や時刻、自分がどこにいるか等の基本的な状況を把握することが困難になる。

### 症状3【理解・判断力の障害】

例) 考えるスピードが遅くなる・二つ以上の事が重なるとうまく処理できなくなる・いつもと違うできごとに混乱を起こしやすくなる・目に見えないメカニズムに混乱する(全自動洗濯機や火が目に見えないIHクッカー等がうまく使えない等)

### 症状4【実行機能障害】

例) 計画的にものごとを行うことができなくなる(食事の献立を考え買い物するが、家に帰ると献立を立てていたことを忘れる等)

### 症状5【感情表現の変化】

例) その場の状況が理解できず感情的になることがある。

この他にも、各個人の性格・素質や環境・心理状態によって様々な行動や心理状況が表れることがあります。

【参照】厚生労働省HP

## 若くても認知症になるの？

年をとるほど認知症にはなりやすくなりますが、認知症は高齢者だけの病気ではありません。65歳未満で発症した認知症を「若年性認知症」といいますが、若年性認知症の患者数は3.78万人と推計されています。

【出典】「若年性認知症の実態と対応の基盤整備に関する研究」(主任研究者 筑波大学大学院人間総合科学研究科 朝田隆教授)

## 認知症サポーターとは？

福知山市では、認知症になっても安心して住みなれた地域で暮らせるまちづくりを目指して、認知症サポーター養成講座をキャラバン・メイト\*と協働で開催しています。

認知症サポーターとは認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族を温かい目で見守ってくれる「応援者」です。認知症サポーター養成講座を受講することで、認知症のサポーターになることができます。

\*キャラバン・メイト…全国キャラバン・メイト連絡協議会の開催する認知症サポーター養成講座で研修を受け、地域や職場等で認知症サポーター育成の講師役を務める方々

## 認知症サポーターになるには？

キャラバン・メイトが行う「認知症サポーター養成講座」で、基本知識や本人や家族への支援など90分程度の研修を受けていただきます。講座の開催希望があれば福知山市地域包括支援センターへお問い合わせください。(原則10名以上)

中央包括支援センター(市役所内)：24-7073

## サポーターになったら

認知症の方が困っていたら「なにかお手伝いすることがありますか」と一声かけてみましょう。たとえ、具体的な援助はできなくても理解者であることを示すことができます。地域の人々の理解と協力は、認知症の人の地域での生活にとって大きな支えとなります。皆で共に幸せを生きるまちづくりを目指しましょう。

# SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)の落とし穴

最近の情報処理技術の向上と普及のスピードは、飛躍的に加速しており、まさに高度情報化社会と呼ぶにふさわしい時代となりました。

携帯電話はスマートフォン(高性能携帯電話)の急速な普及により一人で複数台保有することもあり、国内普及率は100%を超えたといわれています。

手元の携帯電話をすこし操作するだけで、世界の最新ニュースを知り、電車の到着時刻を調べ、お店を予約し、欲しいものをすぐさま購入することができます。

さらに、FacebookやTwitter、LINEといったSNS(ソーシャルネットワーキングサービス・・・インターネット上のコミュニティサービス)が若い世代を中心に広まり、特別な知識や設備がなくとも、自身の意見を世界中に発信できるようになりました。

しかし、昨年の夏ごろから、飲食店やコンビニエンスストアのアルバイト従業員らが、店内での悪ふざけの画像をインターネット上で公開し、不適切な行為が発覚するケースが相次ぎました。

「面白半分」や「軽いノリ」の軽率な行動は、店側の謝罪に始まり、従業員の解雇、休業・閉店、従業員への損害賠償請求などに至る重大な結果を招いています。

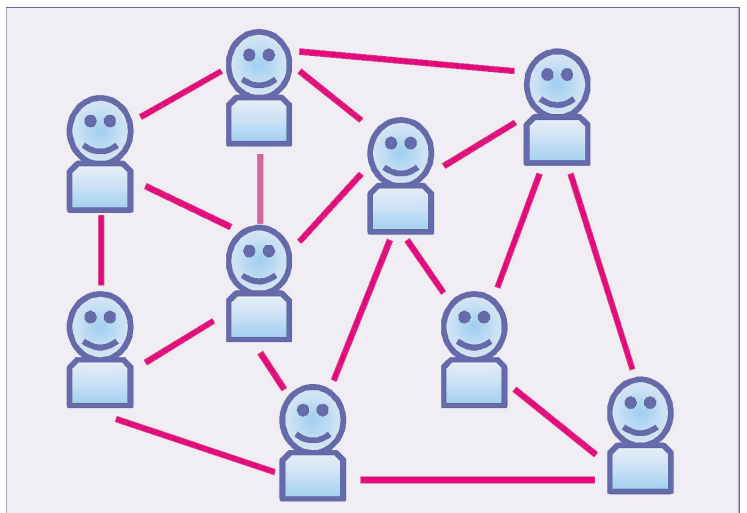
さらには、過去の投稿などから、個人が特定され、実名や学校名、住所などの個人情報が流出し、非難や中傷が続くケースもあります。

一旦、インターネット上に公開した写真や発信した情報というのは、たとえ削除したとしても、またたく間にコピーが繰り返され、不特定多数に拡散され、完全に消し去ることは出来ません。

SNSの特徴は、インターネットを使いながらも、知り合い・友人同士で情報交換をし続ける点にあります。友達同士でやりとりを続けるうちに、SNSの空間がまるで、友達だけで集まった密室であるかのように思い込んでしまいます。「仲間内のおふざけ」や「内輪のノリ」のつもりで、そこに世界中の視線が集まっていることを忘れ、軽率な行動をしてしまうのです。

私たちの手の平にあるスマートフォンの向こう側に広がっている世界は、現実なのです。たとえ、液晶の画面越しであったとしても現実社会とはなんら変わりありません。ルールやマナーを守り、節度を持って利用するという心がけが重要です。

## SNSとは？



SNSは、インターネット上に形成されたオンライン・コミュニティで、実社会での人間関係を基にしているのが特徴です。

コミュニティへの参加を、招待や承認を行うことにより、一定制限しているため、ユーザーは安心感を持って利用することができます。時間や地理的条件にとられない交流が可能なることから、若い世代を中心に利用者が増えています。

# 登録型の「本人通知制度」をご存知ですか

平成23年11月、愛知県で市民の戸籍謄本などが不正に取得され、脅迫や嫌がらせなどに悪用されました。また、同年7月には、鹿児島で、不正に取得された戸籍謄本が偽造パスポートや偽装結婚などの組織犯罪に使用された可能性があることがわかりました。これらは「登録型本人通知制度」に基づく本人通知で判明しました。

「本人通知制度」は、福知山市に住民登録や本籍のある人が、事前に登録しておくことで、代理人または、第三者に戸籍や住民票の写しなどが交付されたときに、通知を受ける制度です。登録することによって、自身の戸籍等を不正に取得させない、自分のプライバシーを守ることができる以外にも、多くの人が登録していることで、不正に戸籍等を取得しようとしている者が発覚をおそれて取得をあきらめるといった防止の効果も期待できます。現在、福知山市では300人（平成26年6月10日現在）が登録されています。

①登録できる人／福知山市に住民登録または戸籍がある人（過去にあった人）

②登録期間（通知する期間）／登録日の翌日から起算して3年を経過した日

## ③対象となる証明書

住民票の写し、戸籍の附票の写し、戸籍の謄本または抄本、これら住民票・附票の除票および除かれた戸籍

## ④通知する内容

交付年月日、交付証明書の種別、交付枚数、交付請求の種別（代理人または第三者の別）

※この制度は、交付されたことを通知するもので、交付請求者の名前、住所は通知しません。

※交付を差し止めるものではありません。

## ⑤通知は

代理人・第三者に③の証明書が交付された場合、交付した事実を④の内容に基づいて、後日、登録者に通知します。

⑥登録受付窓口／登録は、事前に申し込みをしてください。手続きの詳細は、窓口にお問い合わせください。【登録に必要なもの】運転免許証など本人確認できる書類・印鑑

## 受付窓口

市民課(Tel24-7014・Fax23-9780) 三和支所(Tel58-3001・Fax58-3013)

夜久野支所(Tel37-1101・Fax37-5002) 大江支所(Tel56-1101・Fax56-2018)

各人権ふれあいセンター、児童館でも受け付けています。

## 制度登録の行動が、身元調査お断り運動の実践です

不正に取得された戸籍等は、脅迫やいやがらせ、犯罪に使われただけでなく、結婚時等の身元調査にも悪用されたことが明らかになっています。

身元調査は、本人の戸籍や能力とは関係なく、国籍や社会的身分、家柄、職業、出身地、信条等を理由に人を避け排除する目的で行う差別行為です。身元調査は、単にプライバシーを侵害するだけでなく、個人の尊厳を否定するものであり、時には生命をも奪う行為なのです。

身元調査をなくすには、自分自身が身元調査をしないことはもちろん、させない、見逃さないといった身元調査を許さない態度が重要です。ぜひ、本人通知の登録をして、身元調査お断り運動の実践をしてください。



# 大正小学校の人権教育

## 夢をもち、ともにはげむ子の育成

- |                      |      |        |
|----------------------|------|--------|
| ○真心で、人と関わる子          | 〈真心〉 | 【他者貢献】 |
| ○自分の考えを持ち、学習に向かう子    | 〈勉強〉 | 【社会貢献】 |
| ○夢を持ち、目標に向かってたゆまずやる子 | 〈継続〉 | 【自己実現】 |
| ○心身健やかに、たくましく生きる子    | 〈健康〉 | 【実践力】  |

### 人権の教育目標

児童集会や、各教室でお互いのよさを認め合うことで、自尊感情を高めると共に、違いを認め、他者を尊重する態度や、実践力を培う。

#### 達成したときの子ども姿

- 1 自分から進んで、あいさつをする児童
- 2 大きな声で、はきはきと自分の思いを話す児童
- 3 くん・さんをつけて名前を呼ぶ児童

## 一人一人が輝くために

### ●あいさつ

あいさつ委員会は毎朝、児童昇降口で元気なあいさつを行っています。



### ●児童集会

相手に伝わるような話し方ができるよう、意識して話すことを目標にしています。「向く・聞く・うなづく」をキーワードに、聞き方名人を目指しています。



### ●フレンドリー活動（異年齢活動）

児童一人一人が、それぞれの学年としての役割を果たすことを目標にして取り組んでいます。

## 学力の充実

- 国語科・算数科における少人数指導及びT.T指導の実施
- 学力診断テスト及び総合学力調査の分析
- 大正パワーアップタイム
- 校内補習〈スイスイタイム〉
- 朝読書
- 読書ボランティアさんによる読み聞かせとお話会



お話会

## 具体的な取組の紹介

## 人権旬間の取組

前期・後期に人権旬間を設け、人権学習の公開をしています。また人権集会では、保護者の方による読み聞かせや子ども達への手紙の朗読などをしていただいています。



学校中に掲示される人権標語

保護者の方の手作りの、全校児童がとももあたたかい気持ちになる集会です。

また、学校中に掲示される、人権標語によって子ども達同士で人権の啓発を行っています。

## ふれあい活動の充実

毎年、2年生が堀会館の見学に行っています。

昨年は、手芸クラブの方々に教えていただき、ペットボトルの小物入れを作りました。

児童一人一人丁寧に教えていただき、楽しいお話もさせていただきました。

作品は、堀会館の文化祭にも展示され、多くの人に見ていただきました。



堀会館での交流

# 南陵中学校の人権教育

学校教育目標 **自らを鍛え、人とともに生き、夢に挑戦する生徒の育成**

学校経営スローガン **幼稚園・小学校・中学校の連結を意識したブロック総がかりの取組**

## 「人権教育の一層の充実に努める」

教育活動全体に人権教育を適切に位置付け、生徒の実態を的確に把握し、学力の充実・向上や進路保障に努める。また、基本的人権や同和問題など様々な人権問題についての正しい理解や認識の基礎を養い、互いの個性や価値観の違いを認めるなど、自他ともに尊重する態度や実践力を培う。

- (1) 本校が積み上げてきた同和問題学習の実践を改めて見直し、同和問題を人権問題の重要な柱と位置付け、あらゆる人権問題の解決に向けて実践する態度の育成に努める。
- (2) 自他ともに尊重する態度を育成し、いじめが人権問題だという意識を浸透させ、いじめを決して許さない環境づくりを推進する。
- (3) 個に応じた指導を徹底し、学力を高め、進路保障に努める。
- (4) 課題の見られる生徒には、家庭との連携を強化し、課題に即したきめ細かな指導に努める。
- (5) 様々な人権問題の解決を目指す総合的な取組を推進するため、社会教育や関係機関との連携を強化し、地域社会の深い信頼の下に実践を進める。

人権の  
教育目標

## 具体的な取組の紹介

### 学力の充実

- 1 SUT (Step Up Time) での基礎がため
- 2 毎学期に行う基礎学力テスト
- 3 毎日の宿題 (1年生: マイトレ・2年生: 日々演・3年生: 日々スタ) での家庭学習時間確保
- 4 学力充実に向けて2年生は週末確認テスト、3年生は終礼学習【平成26年度】

### 人権学習

4月の全校人権学習や前期と後期の人権学習などを設け、正しい知識を身につけたり人権意識を高めたりします。また、それぞれの人権宣言を立てたり、学級独自の人権目標を立てたりもします。また、11月の文化祭では、学年の代表者が人権学習のまとめ作文を全校の前で発表します。

### 生徒会の取組「スマイルレタープロジェクト」

学校でクラスメイトや部活動の仲間などいろいろな人と関わる中で、うれしかったことや楽しかったこと、「ありがとう」と心に思ったことなどを小さい紙に書き、その小さい紙を集めてモザイクアートを作りました。「絆」という字を作り、文化祭で展示し、その後誰からも見えるように校舎の2階からつり下げました。

### 人権標語

人権標語をつくることで、人権を大切にしている心を育てています。その標語は校内に掲示することで、学校全体の人権意識の向上につなげたいと思っています。

## 図書館 1F

図書館の1階は、児童図書や絵本、子育て暮らしの図書のフロアとして、書架の閲覧席や子どもトイレなどが子ども達の使いやすい高さ、大きさにデザインされています。



### おはなしのへや・いこいのへや

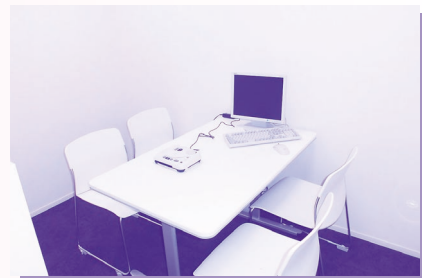
「おはなしのへや」は、靴を脱いで、床に座りくつろぎながら、乳幼児や小学生に絵本を読み聞かせたり、子どもたちが自由に絵本をよめるコーナーです。

また、図書館内でも歓談と飲食のできる「いこいのへや」もあり、子どもをつれて、また友達同士で図書館を楽しんでいただけます。

### 対面読書室

目の見えない人や、目が見えにくくなった人のために、本などをボランティアの皆さんが代読するための部屋です。

そのほかにも、文字が見やすい「白黒反転本」、絵にも凹凸がある「点字絵本」、手で触って感じる「布の絵本」、文字を大きく映し出す拡大読書機など、どなたでも読書を楽しんでいただけるための本や機器を設置しています。



## 図書館 2F

2階は一般図書のフロアです。実用書や小説などがあり、新聞16紙、雑誌約200タイトルも自由に読むことができます。また、読書支援のための学習や研修ができる部屋もあります。



### ティーンズコーナー

10代の人に読んでもらいたい本と、読書や学習ができるコーナーがあります。

検索機で簡単に目当ての本を探し、窓際の閲覧席で福知山駅の北側公園を見下ろしながら、本を読んだり、勉強する・・・多くの生徒さんのご利用をお待ちしています。

### 郷土資料・レファレンスコーナー

郷土資料や辞書・事典をそなえ、さまざまなことを調べることができるコーナーです。

また、パソコンが持ち込める閲覧席もあり、プラザ内のWi-Fiスポットを使えば、インターネットの利用もできます。



## ほっとはあとスペース 森cafe

「私たちのところは森の中。図書館のオアシス。本と本のあいだのちょっとした休憩」  
障害のあるみなさんとふくちやま福祉会のスタッフが、みなさんをお待ちしています。



- 営業時間：月～金8：00～19：30 土日祝9：00～19：00
- メニュー
- コーヒー、ジュース（オレンジ）、カプチーノ【300円】
- カレーライス（サラダ付）【500円】セット（ドリンク付）【700円】
- 日替わりランチ（ドリンク付）【700円】※平日限定
- 自家製アイス「収穫のアイス」【350円】
- BLTCサンド、ホットドッグセット（どちらもサラダ・ドリンク付）【500円】
- 健康トーストモーニング（スクランブルエッグ・サラダ・ドリンク付）【400円】